

平成30年度 戸倉小学校 教職員 非違行為防止研修 その2

戸倉小学校では、平成30年度は

○子ども、保護者、家族を思い浮かべ、自らの言動を律する強い気持ちを持つ。

○教職員同士が心を開き、励ましと感謝にあふれた関係を築く。

を目標に、非違行為防止研修を進めてきています。9月以降は次のような研修を行いました。

9月 「非違行為根絶に向けて」事例7（暴言）を読み、発生状況や事例について学びました。「体罰根絶のためのセルフチェックシート」を実施し自己を振り返りました。

教務主任が「教頭・教務主任 非違行為根絶研修会」での研修内容について、職員に伝達しました。

10月 9月に千曲市内の小中学校で起きた教職員の交通事故や交通違反についての連絡がありました。自覚を持った安全運転、交通法規の遵守、模範的な運転に努めるように自己を見なおしました。

交通安全指導員に来校していただき、飲酒体験のできるゴーグルを着用することで、飲酒が及ぼす危険について、実際に体験しました。想像以上に体が思うように動かさないことに驚き、心に残る体験となりました。夜間の見えにくさについても教えていただきました。また、第三者（PTA会長）に参加していただくことにより、教職員としての自覚が高まりました。



<先生方の感想>

- ・眼鏡（飲酒体験ゴーグル）をかけ、自信たっぷりの自分。こんな簡単すぎる・・・なのに足が縁石にぶつかり、え～こんなはずでは。本当に意外でした。飲酒している状態を体験できてよかったです。
- ・酒酔い眼鏡をかけて歩く先生方の姿を見て、酔うと、自分ではしっかり歩いているつもりでも、足元がおぼつかなくなってしまうことが改めて感じました。もし、車の運転をしていたら、とんでもないことになると思いました。「飲んだら乗らない」当然のことと思います。
- ・夜間の見えにくさは、自分の経験でもドキッとしたことがあったが、改めて注意していかなければいけないと思った。

研修にご参加いただいたPTA会長さんからは次のようなお話をいただきました。

- ・自分を振り返り、失敗したパターンを考えてみると、近いところで、急げば何とか間に合うといったときにスピード違反になるような行動をとってしまうことがわかった。ゆっくり行けばひどい事故にはならないはずである。先生方も、心に余裕をもって行動してください。

職員の気持ちをほぐし、互いに相談できる間柄にするために、体を動かしたり、協力したりしながらコミュニケーションをとる活動も研修行いました。先生方が笑顔で楽しく研修をすることができました。



先生方の感想

- ・職員集団が積極的にコミュニケーションをはかるのは、大事なことだと思っていますが、良い機会でした。
- ・普段授業で気を付けていること、自分のことを言ったり、みなさんのことを聞いて共感していただきうれしかったです。最後は車座になって子どもの話などをして、本当に体も心もホッコリできました。

11月 臨時的任用講師の兼業の事例、懲戒処分等の指針の一部改正「ハラスメント」（わいせつな行為等→ハラスメントに改正）について資料を読み合わせました。

9月に県内で発生した「自動車運転処罰法違反、道路交通法違反」の事例について、校長先生より注意がありました。

今後も非違行為防止研修を継続していきます。